

自己紹介名刺を作ろう

20種類のテンプレートが搭載されており、様々な名刺を作成することができます。

友達同士で名刺を交換し合い自己紹介をすることができます。

● 事前準備する資料

- 名刺に掲載する写真やイラスト
- 名前、学年、クラス、趣味、得意科目、所属部活動などの情報をまとめる

名刺に掲載する項目を考え、イメージをまとめます。

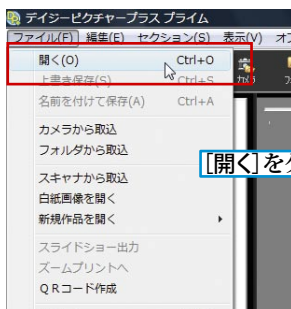


第2章

48 自己紹介名刺を作ろう

▶ 写真をファイルから取り込もう

1 メニューバーの[ファイル(F)]から[開く]を選択します。



2 使用する写真のファイル名をクリックして、[開く]を選択します。

▶ テンプレートを決めよう

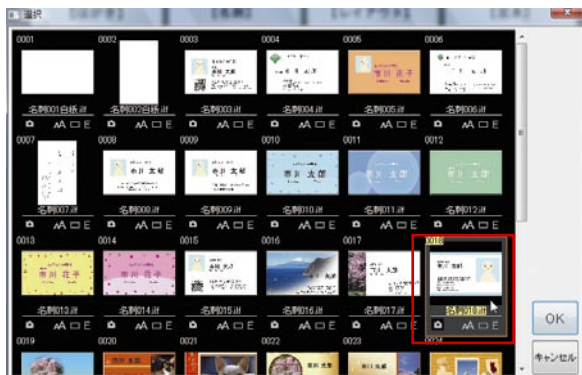


1 ツールバーの[作品]をクリックします。

2 [作品セクション]画面が表示されます。



3 テンプレートを選択し、[OK]をクリックします。

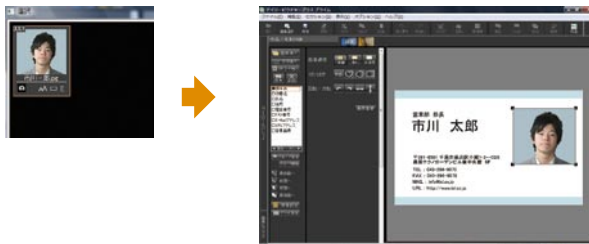


▶ 写真を差し替えよう



- 1 [画像差替] をクリックします。[選択] ウィンドウが表示されるので、名刺に掲載する写真を選択して [OK] をクリックします。

サムネイルをクリックすると、オレンジ色の枠で囲われます。



この状態でドラッグすると写真の大きさが変わります。

写真の大きさが合わない場合

- 1 写真が選択された状態(写真の四隅に [■] が表示されている)を確認します。選択されていない場合は、大きさを変える写真をクリックして選択します。

- 2 写真の四隅の [■] にカーソルを合わせます。カーソルが斜めの矢印に変わります。

写真にカーソルを合わせ、ドラッグをすると写真の位置を移動できます。

▶ 文字を入力しよう

あらかじめテンプレートで文字が配置してあるので、その文字を「変更」する入力方法でご案内します。

名前を変更します



- 1 画面右手から変更する文字(市川 太郎)をクリックして選択します。

- 2 画面左上角の[文字入力ボックス]の文字をすべて消します。

入力する文字を[文字入力ボックス]へ入力します。



必ず文字入力ボックスを一度クリックして、カーソルが点滅していることを確認してから文字の入力を行ってください。

第2章

50 自己紹介名刺を作ろう

3 設定ができれば、[変更]をクリックします。



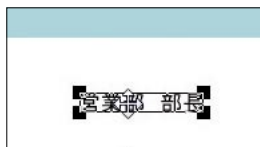
4 文字にカーソルを合わせドラッグをすると、文字の位置が移動できます。

また、選択されている文字の四隅の[■]をドラッグすると、文字の大きさを調整することができます。

文字の四隅の[■]にカーソルが合わない場合はコントロールパレットの[倍率]をエディットコントロールで設定します。

クラスを入力します

1 画面右手から変更する文字(営業部 部長)をクリックして選択します。



2 画面左上角の[文字入力ボックス]の文字をすべて削除します。入力する文字を[文字入力ボックス]へ入力します。



3 設定ができれば、[変更]をクリックします。

4 入力された文字の大きさ・配置を調整します。



まとめ

上記の方法で、【所属部活動】・【得意科目】など自己紹介名刺に必要な項目を入力します。

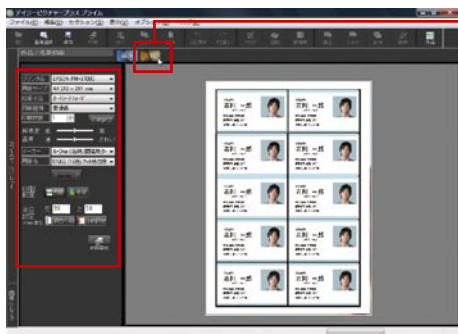
新しい文字を追加する場合は、[文字挿入]をクリックし2～4の工程を行います。

[文字挿入]をクリックすると、画面右手の写真に[文字列を入力してください]と表示されますが、2～3の操作後に[変更]をクリックすると、編集した文字が表示されます。

文字枠を削除する場合は、削除をする文字をクリックして選択し、コントロールパレットの[削除]をクリックします。ウィンドウが表示されるので、[はい]をクリックします。



▶ 印刷をしよう



1 タブの [印刷] をクリックします。

2 印刷の画面が表示されます。

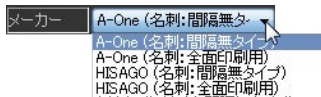
3 [プリンタ名] を設定します。[▼] をクリックすると、お使いのパソコンに接続されているプリンタが表示されます。この中から使用するプリンタを選択します。

4 [用紙サイズ] を設定します。[▼] をクリックし、用紙のサイズを選択します。

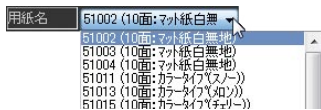
ここでは、設定の変更は必要ありません。

5 [給紙方法]、[用紙種類] は任意の設定を行います。

6 [メーカー] はこれから使用する名刺用紙のメーカーを設定する部分です。[▼] をクリックすると、メーカー名が表示されます。この中から対象のメーカーを選択します。



7 [用紙名] を設定します。6で設定したメーカーの対応している用紙の型番が表示されるので、対象の型番の用紙を選択します。



8 用紙の向きは [印刷設定] ボタンをクリックし、お使いのプリンタの [プロパティ] から設定をしてください。ここでは縦で印刷を行うので、そのままにします。

プリンタのプロパティの設定につきましては、ご利用のプリンタの取扱説明書をご覧ください。



9 印刷の配置は [内接] をクリックし、用紙に作品がすべて収まるようにしてください。

用紙サイズを変更した場合は、キャンパス上の印刷イメージが変更されます。



10 [印刷開始] をクリックし、[はい] を選択すると印刷が開始されます。

補定

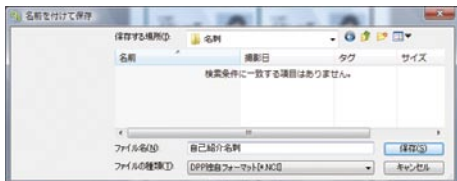
内接とは・・・

設定された用紙に対して、画像が用紙からはみ出さないように、縦または横の辺の内、どちらか長い辺を基準として画像を自動的に配置します。なお、画像と用紙の縦横の比率が異なる場合には、基準とした辺に対してもう一方に余白が発生することがあります。

外接とは・・・

設定された用紙に対して、余白が発生しないように、縦または横の辺の内、どちらか短い辺を基準として画像を自動的に配置します。なお、画像と用紙の縦横の比率が異なる場合には、基準とした辺に対してもう一方は印刷領域を超えて配置するため、一方の画像の端が切れた状態になることがあります。

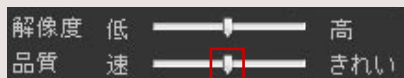
▶ 保存をしよう



- 1 ツールバーの[保存]をクリックします。
- 2 [名前を付けて保存]ウインドウが表示されます。
- 3 [保存する場所]の[▼]をクリックすると、保存先が選択できるので任意の保存先を設定してください。
- 4 [ファイル名]はこの作品の任意のファイル名をつけてください。ファイル名は[自己紹介名刺]とつけます。
- 5 [ファイルの種類]はそのままです。名刺の拡張子は[*.*NCI]になります。
- 6 [保存]をクリックすると作品の保存が完了します。

補足

名刺の文字が欠けて印刷される場合は・・・
コントロールパレットの[品質]を[きれい]へスライドさせてください。



ホームページに掲載する写真を加工しよう

学校のホームページに掲載する写真を作成することができます。調べ学習の結果や学校行事の写真を掲載することで学習内容や学校生活を地域に紹介することができます。

● 事前準備する資料

- ホームページに掲載する写真

ホームページに掲載する内容に合った写真の加工イメージを考えます。

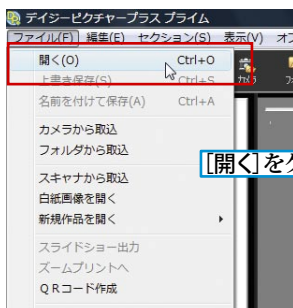


第2章

54 ホームページに掲載する写真を加工しよう

▶ 写真をファイルから取り込もう

1 メニューバーの[ファイル(F)]から[開く]を選択します。

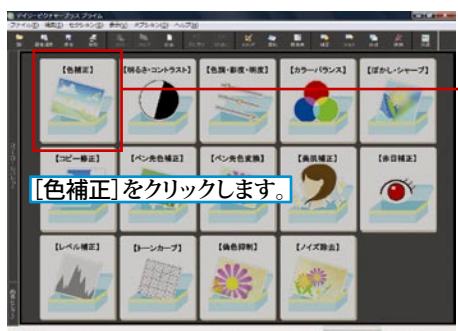


2 使用する写真のファイル名をクリックして、[開く]を選択します。

▶ 暗い写真を明るくしよう



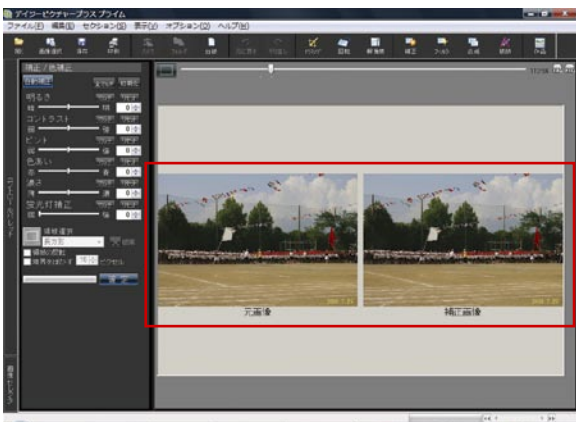
1 ツールバーの[補正]をクリックします。



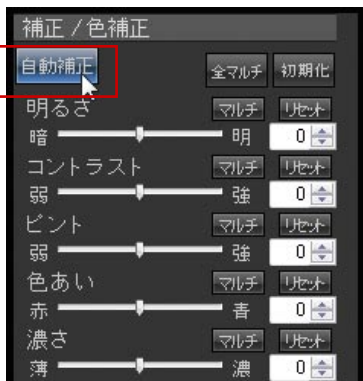
2 [セクション選択画面]が表示されます。



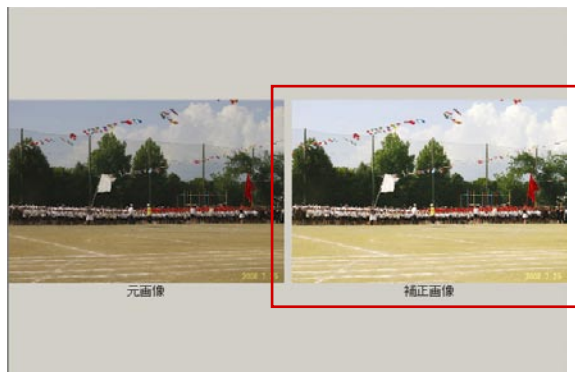
3 画像の総合的な色補正を行う色補正セクションへ移動します。



色補正セクションへ移動した直後は、ここで操作した画像の状態を比較できるように[元画像]と[補正画像]が並んで表示されます。

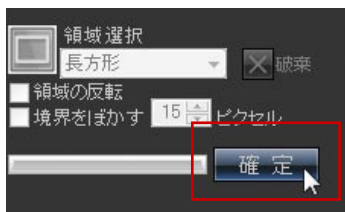


4 [自動補正] をクリックします。



5 [補正画像] に、自動補正を実行した状態が反映されます。

6 [確定] をクリックすると、自動補正を実行します。



設定した補正内容が確定すると「元画像」にその内容が反映され、「元画像」と「補正画像」は同じ状態になります。

補足

自動補正機能について

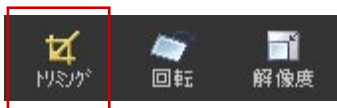
[デジピクチャープラス プライム] には、画像の被写体を認識し、画像の色素や明るさなどの傾向から、自動的に被写体が最も美しく見える補正値を算出して、算出した補正値に補正を実行する「IR (Image Recognition) 補正」機能が実装されています。

「自動補正」ボタンをクリックすると、その時点で選択されている画像にこの「IR 自動補正」機能を反映させます。

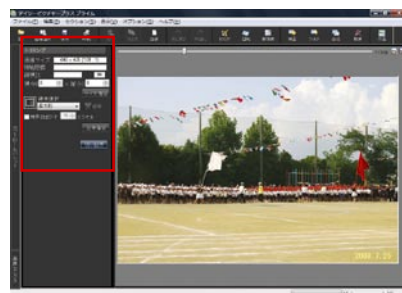
※自動補正の注意点

「自動補正」を選択した際に、「自動補正する必要のない画像のようです。」というメッセージが表示される場合があります。これは選択されている画像が、すでに最適な明るさであることを示しているため、[OK] をクリックします。

▶ 写真の形を変えてみよう



1 ツールバーの [トリミング] をクリックします。
[トリミング] セクション画面に切り替わります。



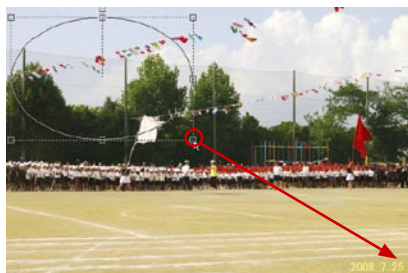
第2章

56 ホームページに掲載する写真を加工しよう

2 [領域選択] をクリックします。



3 [領域選択] ウィンドウが表示されます。利用する領域選択をクリックして選択します。
楕円形に切り抜くので「楕円」を選択します。



4 写真の左上から右下に向かってドラッグをすると、灰色の線が表示され、選択した領域選択の型が表示されます。

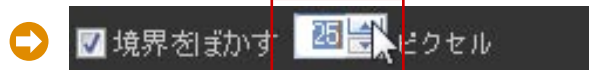
切り抜きたい範囲が型の中に収まるようにドラッグをします。

マウスのボタンを離すと、灰色の線から緑色の点線に変わり型が確定します。領域選択枠内にカーソルを合わせドラッグをすると型の配置が変更できます。

領域選択枠の位置と大きさの調節方法はマニュアル23ページを参照ください。

5 [境界をぼかす] の左手に表示されている「□」をクリックして、チェックマークを付けて有効にします。

6 境界をぼかす際に、エディットコントロールまたはスピコンコントロールで、ぼかしを掛ける範囲の幅を設定することができます。



ぼかしの幅は [25] に設定します。

ぼかしの数値は最小は [0] から、最大は [30] までとなっています。



7 [切り抜き] をクリックすると、切り抜きを実行します。

補足

エディットコントロール

半角数字で数値を設定することにより、効果を調節します。

スピコンコントロール

【▲】ボタン・【▼】ボタンを操作することにより、効果を調節します。

▶ 写真のファイル容量を小さくしよう

- 1 ツールバーの[解像度]をクリックします。

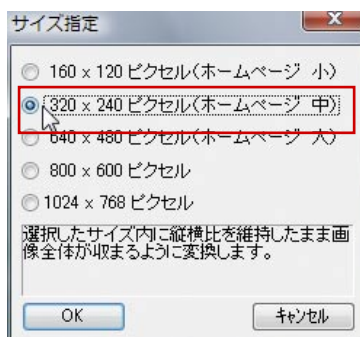


- 2 画像の容量(サイズ)を変更する解像度変換セクションへ移動します。

- 3 [サイズ指定]を選択します。
[サイズ指定]ウインドウが表示されます。

- 4 ホームページ用の大きさの写真に加工するので、[320×240]に設定します。
[○]にチェックをつけ、[OK]をクリックします。

画像サイズについては149ページの「用途別解像度一覧表」をご覧ください。



597×401



320×214

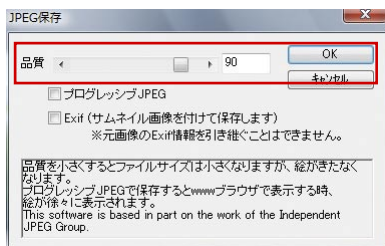
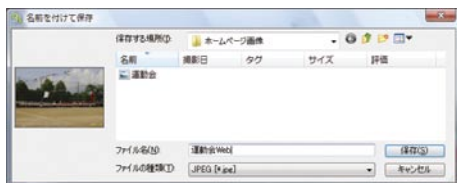
- 5 [確定]をクリックすると、写真の大きさが変換され実寸サイズになって表示されます。

▶ 保存をしよう



- 1 ツールバーの[保存]をクリックします。
- 2 [名前を付けて保存]ウインドウが表示されます。
- 3 [保存する場所]の[▼]をクリックすると、保存先が選択できるので任意の保存先を設定してください。
- 4 [ファイル名]はこの作品の任意のファイル名をつけてください。
- 5 [ファイルの種類]は[JPEG(*.jpg)]を選択します。

保存形式についての解説は149ページの「保存形式一覧表」をご覧ください。



- 6 [保存]をクリックします。
- 7 [JPEG保存]ウインドウが表示されます。
品質の数値はそのまま[90]に設定します。[OK]をクリックします。

ホームページに掲載する写真のファイル名は、小文字の半角英数字(1バイト)でつけます。ひらがなもしくは漢字で名前をつけるとページが開かないからです。サーバによっては大文字で名前をつけてページを開こうとすると開かない場合があるので小文字の半角英数字で保存するようにしてください。

補足

思い出のミニ卒業アルバムを作ろう

複数の写真に装飾を行い1冊のミニアルバムを作成することができます。

学校生活の記録をミニアルバムにすることができます。部活動紹介や学校の特色の紹介、郊外学習のまとめ、1年間のまとめとしても活用できます。

● 事前準備する資料

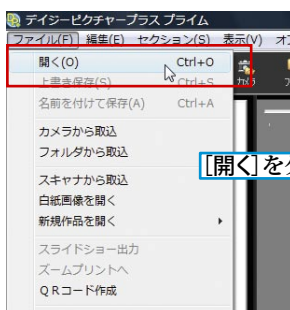
- アルバムに掲載する写真(12枚)
(写真は必ず1つのフォルダにまとめて保存して用意してください)
- のり、はさみ

アルバムに掲載する写真を用意し、ページのレイアウトを考えます。



▶ 写真をファイルから取り込もう

- 1 メニューバーの[ファイル(F)]から[開く]を選択します。



- 2 使用する写真のファイル名をクリックして、[開く]を選択します。

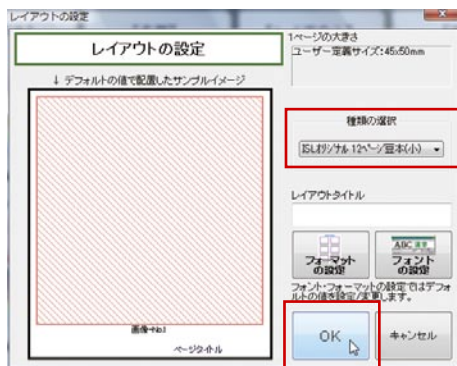
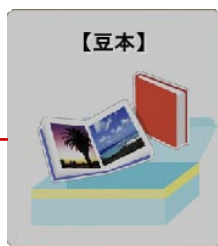
▶ テンプレートを決めよう



- 1 ツールバーの[作品]をクリックします。



- 2 [作品セクション]画面が表示されます。



- 3 [レイアウトの設定] ウィンドウが表示されます。
[種類の選択]の[ISLオリジナル12ページ豆本(小)]を選択します。



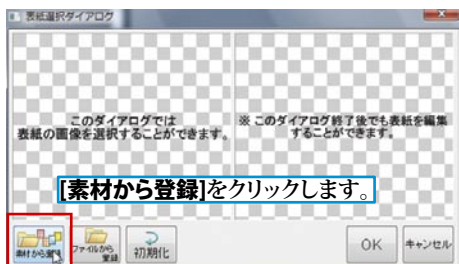
- 4 [OK]をクリックします。

第2章

60 思い出のミニ卒業アルバムを作ろう

▶ 表紙を選択しよう

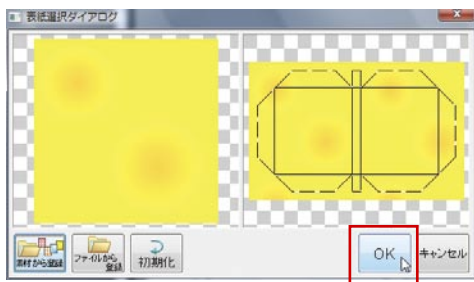
1 [表紙選択ダイアログ] ウィンドウが表示されます。



2 表紙は[素材から登録]と[ファイルから登録]から選択できます。ここでは、デジピクチャープラス プライムに収録されている素材から表紙を選択します。

3 [選択] ウィンドウが表示されるので、使用する素材を選んでクリックをします。画像が選択されるとサムネイルがオレンジ色の枠で囲われます。

4 [OK] をクリックすると [表紙選択ダイアログ] に、3 で選択した表紙素材が適応された状態で表示されます。



5 [OK] をクリックします。

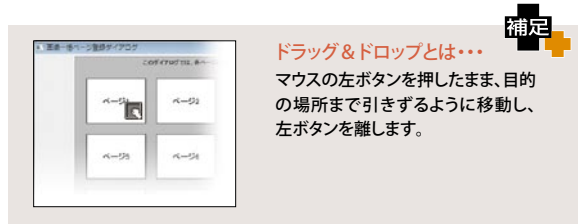
▶ 写真を順番通り挿入しよう

1 [画像一括ページ登録ダイアログ] ウィンドウが表示されます。

2 [画像セレクタ] に写真のサムネイルが表示されるので、1ページ目に掲載する写真を選択します。選択すると写真がオレンジ色の枠で囲われます。



3 写真をドラッグし、[ページ1]と表示されている部分へドラッグ&ドロップをします。



4 2ページ以降も2～3と同じ工程を行い12ページ分の写真を登録します。

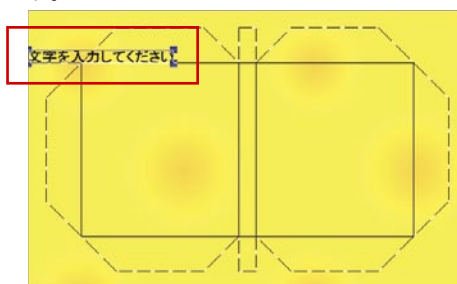
5 [OK]をクリックします。

▶ 表紙を編集して文字を入力しよう

1 コントロールパレットの[文字挿入]をクリックします。



画面右手のキャンバスに「文字を入力してください」と表示されます。



2 画面左上角の[文字入力ボックス]に文章を入力します。



[文字入力ボックス]の文字をすべて消します。
入力する文字を[文字入力ボックス]へ入力します。

必ず文字入力ボックスを一度クリックして、カーソルが点滅していることを確認してから文字の入力を行っています。

3 文章を入力したら、「フォント(フォントの種類)」を設定します。



フォントはお使いのパソコンによって種類が異なります。

第2章

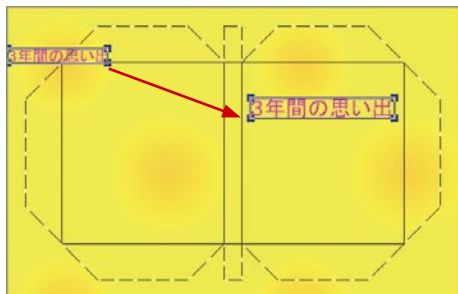
62 思い出のミニ卒業アルバムを作ろう

- 4 七色のパレットがコントロールパレットの中段に表示されているので、利用する色の上にカーソルを合わせてクリックをします。



- 5 設定ができれば、[変更] をクリックします。
作成された文字が、画面右手のキャンバスの画像の左上角に表示されます。

▶ 文字の大きさを変えて配置しよう

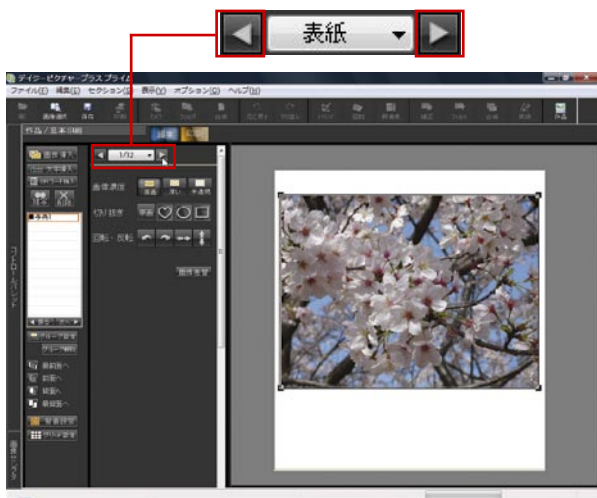


体裁良く配置します。

- 1 文字の四隅に表示されている[■]にカーソルを合わせ、文字の内側に向かってドラッグをすると、文字が縮小されます。逆に、外側に向かってドラッグすると文字が拡大されます。
- 2 文字にカーソルを合わせドラッグすると、文字を移動することができます。

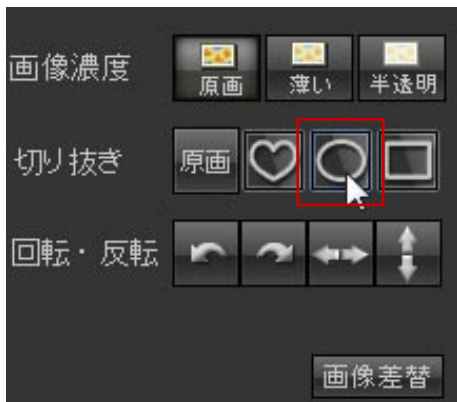
▶ 本体を編集してみよう

- 1 コントロールパレットの上部には左図のようなボタンがあります。
次のページを編集する場合は[▶]をクリックし、ページを戻す場合は[◀]をクリックします。



豆本の本体の編集ページへ移ります。▶

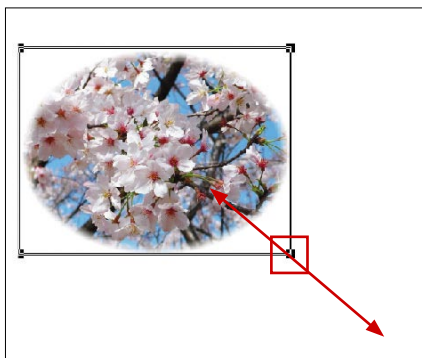
▶ 写真の大きさ、形を変えよう



- 1 豆本の本体の編集画面が表示されます。
- 2 コントロールパレットの[切り抜き]から楕円形を選択し、写真の形を変えます。
用途に合った型で、写真を切り抜きます。



- 3 写真の四隅に表示されている[■]にカーソルを合わせ、写真の内側に向かってドラッグをすると、写真が縮小され、外側に向かってドラッグをすると写真が拡大されます。



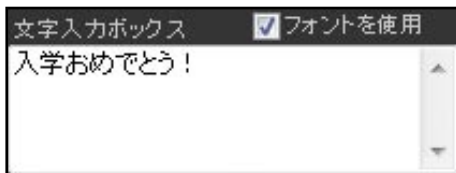
▶ 文字を入力しよう

- 1 コントロールパレットの[文字挿入]をクリックします。



画面右手のキャンバスの左上角に[文字列を入力してください]と表示されます。

- 2 画面左上角の[文字入力ボックス]に文章を入力します。



[文字入力ボックス]の文字をすべて消します。
入力する文字を[文字入力ボックス]へ入力します。

必ず文字入力ボックスを一度クリックして、カーソルが点滅していることを確認してから文字の入力を行っています。

第2章

64 思い出のミニ卒業アルバムを作ろう

- 3 文章を入力したら、「フォント(フォントの種類)」を設定します。



フォントはお使いのパソコンによって種類が異なります。

- 4 七色のパレットがコントロールパレットの中段に表示されているので、利用する色の上にカーソルを合わせてクリックをします。



- 5 効果色を設定します。効果色を設定することで、作成した文字に「背景」・「影」・「縁」を付けることができます。



- 6 すべての設定ができたなら、[変更]をクリックします。

作成された文字が、画面右手のキャンバスの画像の左上角に表示されます。



- 7 文字を移動し、体裁を整えます。

キャンバス上の文字にカーソルを合わせてクリックすると、四隅に[■]が表示されます。

- 8 [■]にカーソルを合わせドラッグすると、文字の大きさを変えることができます。

カーソルを文字の上に合わせドラッグすると、文字の位置を変えることができるので、体裁を整えます。

まとめ

文字を追加で入力する場合は1～3の工程を行います。最後に体裁を整えバランスよく仕上げます。

▶ 次のページへ進もう



- 1 コントロールパレットの上部に左図のボタンがあります。次のページを編集する場合は[▶]をクリックし、ページを戻す場合は[◀]をクリックします。



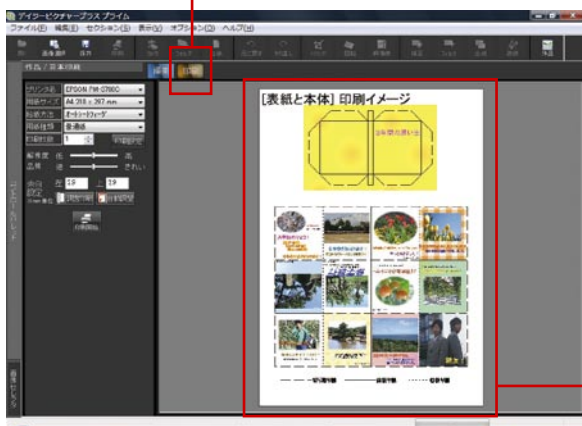
文字を入力する[文字挿入]や写真の形を変える[切り抜き]を行い12ページ分を作成します。

POINT!

写真を挿入しないで文字だけのページを作ることも可能なので、「ミニ卒業文集」を作成することもできます。

▶ 印刷プレビューで作品を確認して印刷をしよう

- 1 タブの[印刷]をクリックします。

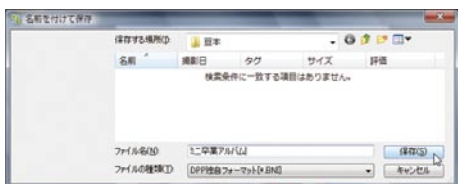


- 2 [プリンタ名]を設定します。[▼]をクリックすると、お使いのパソコンに接続されているプリンタが表示されます。この中から使用するプリンタを選択します。
変更しない場合は、設定をする必要はありません。
- 3 [用紙サイズ]を設定します。[▼]をクリックし、用紙のサイズを選択します。

印刷の画面が表示され、豆本の展開図を見ることができます。

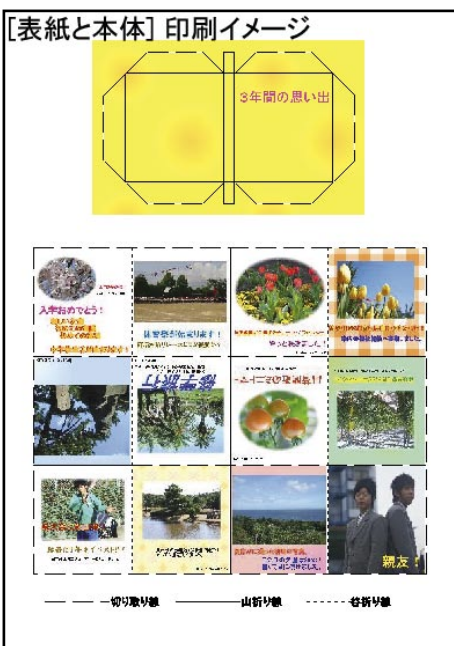
- 4 [給紙方法]、[用紙種類]は任意の設定を行います。
- 5 用紙の向きは[印刷設定]をクリックし、お使いのプリンタの[プロパティ]から設定をしてください。
- 6 [印刷開始]をクリックし、[はい]を選択すると印刷が開始されます。

▶ 保存をしよう



- 1 ツールバーの[保存]をクリックします。
- 2 [名前を付けて保存]ウインドウが表示されます。
- 3 [保存する場所]の[▼]をクリックすると、保存先が選択できるので任意の保存先を設定してください。
- 4 [ファイル名]はこの作品の任意のファイル名をつけてください。ファイル名は[ミニ卒業アルバム]とつけます。
- 5 [ファイルの種類]は豆本の拡張子の場合、「*.BNI」になります。
- 6 [保存]をクリックすると作品の保存が完了します。

▶ 豆本を組み立てよう



- 1 [切り取り線] [山折り線] [谷折り線]を確認します。
 --- 切り取り線
 —— 山折り線
 谷折り線
- 2 はさみで切り取り線を切ります。
- 3 山折り線、谷折り線を順番に折ります。
 (定規を使って折り目をつけてから折るとききれいに折れます)

詳しい組み立て方は159ページをご覧ください。

学校近辺の川を調査して 発表しよう



写真に文字の入力やスタンプなど装飾を行い、スライドショーで発表します。

調べ学習で調査してきた結果を写真に文字を挿入して発表することができます。

● 事前準備する資料

- 川などの写真
- 川の水質や現状をまとめたレポート

学校近辺の川へ行き水質や現状を調べたり、近所の人のお話を聞き、結果をまとめます。発表資料のイメージ図を作成します。

写真取込用フォルダと資料保存用フォルダの2つのフォルダを用意します。

保存場所として新しいフォルダを作成する場合には、画像ソリでフォルダを作成するドライブなどを指定してから[新しいフォルダの作成]をクリックしてください。

補足



第2章

68 学校近辺の川を調査して発表しよう

▶ カメラから写真を取り込もう

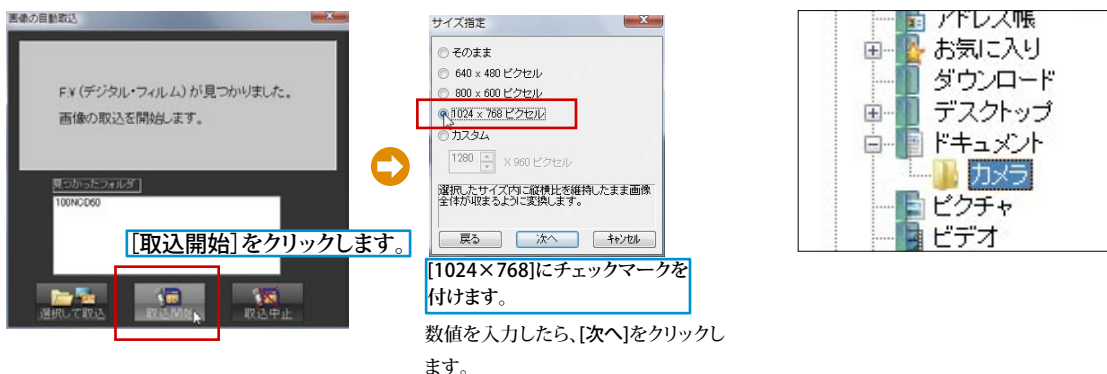
1 デジタルカメラをパソコンに接続して、ツールバーの[カメラ]をクリックします。



2 [画像の自動取込] ウィンドウが表示されます。

3 [サイズ指定] ウィンドウが表示されます。ご利用の用途によって画像のサイズを一括で指定します。

4 [保存フォルダの指定] ウィンドウが表示されます。画像を保存するフォルダを選択し[次へ]をクリックすると、[自動取込中] ウィンドウが表示されます。



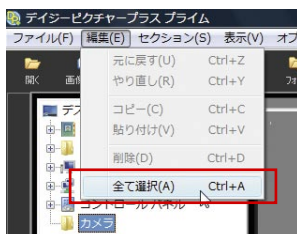
カスタムとは

写真の解像度を任意の数値に設定することができます。数値の入力は長辺のみの入力になります。写真の比率は指定したサイズ内に縦横比を維持したまま写真全体が収まるように変換します。

解像度についての解説は149ページの「用途別解像度一覧表」をご覧ください。

▶ 加工する写真を選択しよう

1 ツールバーの[編集]をクリックし、[全て選択(A)]を選択します。

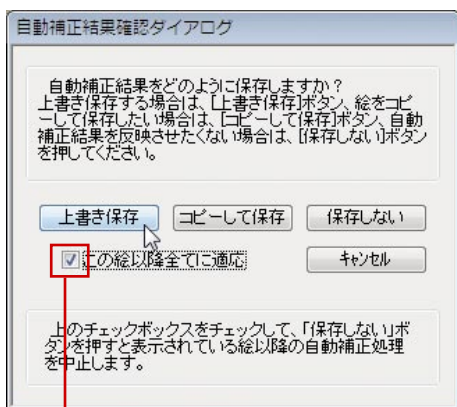


▶ 暗い写真を明るくしよう

1 [画像選択] ウィンドウの左下の [自動補正] をクリックします。



2 自動補正の処理が開始され、[自動補正結果確認ダイアログ] が表示されます。



a. 上書き保存

現在表示されている画像に直接自動補正を実行しています。

b. コピーして保存

現在表示されている画像のコピー画像を作成し、コピー画像に自動補正を実行します。

c. 保存しない

現在表示されている画像には処理を実行しないようにします。

d. キャンセル

自動補正の処理を中止します。

「この絵以降全てに適用」項目の左手に表示されている「□」をクリックして、チェックマークを付けてから、a.~c.までの何れかのボタンをクリックすると、複数の画像を選択している場合、現在表示されている画像以降の全ての画像に選択したボタンの操作を連続して実行します。

3 処理が終了すると、[画像選択] 画面に戻ります。

▶ 写真に調査結果のコメントを入れよう ~新規入力方法~

1 画像セレクトからコメントを入力する写真を選択します。



2 ツールバーの [装飾] をクリックします。

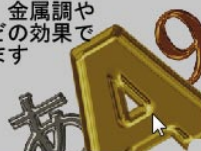


3 [セクション選択] 画面が表示されます。



【文字】

画像に様々な形状で文字を自由に配置でき、金属調やクリスタル調などの効果で言葉を表現できます



第2章

70 学校近辺の川を調査して発表しよう

- 4 画面左上角の[文字入力ボックス]へ入力します。



必ず文字入力ボックスを一度クリックして、カーソルが点滅していることを確認してから文字の入力を行ってください。

- 5 「フォント(フォントの種類)」を設定します。

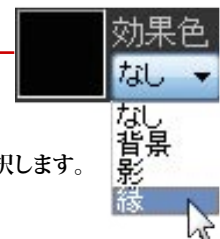


フォントはお使いのパソコンによって種類が異なります。

- 6 七色のパレットがコントロールパレットの中段に表示されているので、利用する色の上にカーソルを合わせてクリックをします。



- 7 効果色を設定します。効果色を設定することで、作成した文字に「背景」・「影」・「縁」をつけることができます。



- 8 パレットから使用する色をクリックして選択します。

- 9 すべての設定ができれば、[新規]をクリックします。

作成された文字が、画面右手のキャンパスの画像の左上角に表示されます。



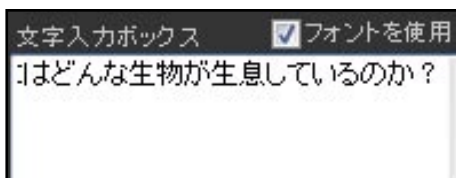
- 10 文字の選択枠の中にカーソルを合わせてドラッグすると、文字の位置が移動できます。

また、文字の四隅の(□)をドラッグすると、文字の大きさを調整することができます。文字の位置と大きさを調整します。



▶ 写真に調査結果のコメントを入れよう ～文章の追加方法～

- 1 [文字入力ボックス]の文字をすべて消します。入力する文字を[文字入力ボックス]へ入力します。



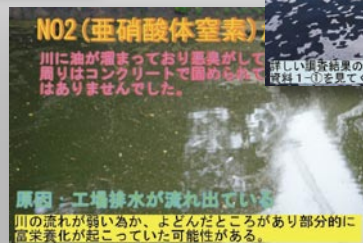
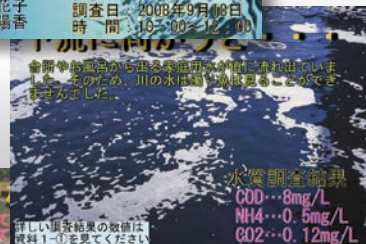
必ず文字入力ボックスを一度クリックして、カーソルが点滅していることを確認してから文字の入力を行ってください。

- 2 前工程の7～9の方法で文字設定を行います。

- 3 すべての設定ができれば、[新規]をクリックすると作成された文字が、画面右手のキャンバスの画像の左上角に表示されます。

上記の方法で、写真に対するコメントや調査結果を入力します。

1ページ目は完成です



第2章

72 学校近辺の川を調査して発表しよう

▶ 保存をしよう



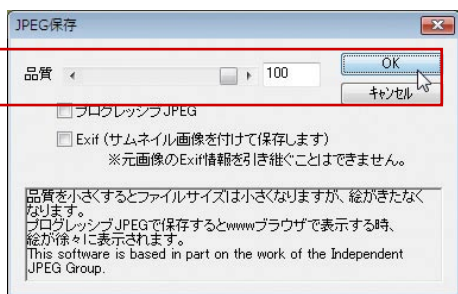
- 1 ツールバーの[保存]をクリックします。
- 2 [名前を付けて保存]のウィンドウが表示されます。
- 3 保存する場所を指定します。



- 4 [ファイル名]に作成した作品のファイルの名前を入力します。作成した資料はスライドショーでファイル名の順番に発表するので、ファイル名の最初に[01]や[02]など番号を振ると並べやすいです。

- 5 作品の保存形式を[ファイルの種類]から選択します。

保存形式についての解説は149ページの「保存形式一覧表」をご覧ください。



- 6 [保存]をクリックします。

- 7 [JPEG保存]ウィンドウが表示されます。品質の数値はスクロールバーをスライドさせて[100]に設定します。

写真に文字を入力した場合は、品質の数値は[90]以上で保存をしてください。文字入力時は品質の数値を[90]以上に設定しないと、保存後に文字がギザギザになります。

補足

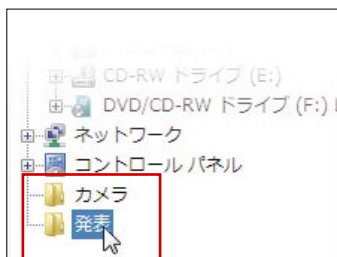
上記操作で、発表に使用する資料を必要枚数を作成して保存します。
※エクスプローラから[カメラ]フォルダを選択し、加工する写真を選択します。

▶ 作成した資料でスライドショーをしよう

- 1 [画像選択]をクリックします。起動画面に戻ります。

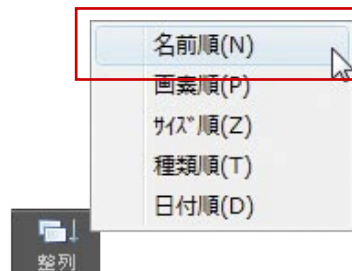


- 2 [エクスプローラ]から[発表]フォルダを選択します。



- 3 画面下段の[画像セレクタ]にフォルダに保存されているデータがサムネイル表示されます。

- 4 [整列]をクリックし、[名前順]をクリックし名前順に並び替えます。



5 [スライドショー]をクリックすると画面全面のスライド表示になります。



6 [スライドショー]をクリックすると画面全面のスライド表示になります。



逆再生

このボタンをクリックする毎に、紙芝居のように、サムネイルに並んでいる順番とは逆に画像が再生されます。

順再生

このボタンをクリックする毎に、紙芝居のように、サムネイルに並んでいる順番通りに画像が再生されます。



BGM

音声ファイル「.WAV」を再生することができ、[参照]をクリックすると、音声ファイルを指定することができます。



「.WAV」データは別途で用意ください

BGMを聴く

にチェックマークを付けると [自動再生] 時に付加された音声ファイルが再生されます。

[スライドショー] ウィンドウが表示されていないとき・・・

スライド表示されている画面の一部を1度クリックをすると、画面右下に [スライドショー] ウィンドウが表示されます。

絵画を描いてみよう

白紙にペンや色鉛筆で絵を描くような感覚で絵が描けます。
自由に絵を描くことができ、生徒の創造性を十分に引き出した
作品を作ることができます。

●事前準備する資料

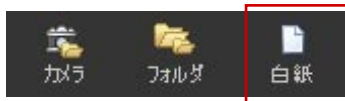
特に無し

※被写体を用意または被写体の
写真などを用意します。



▶ 白紙を用意しよう

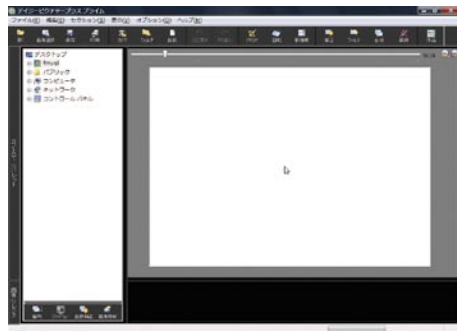
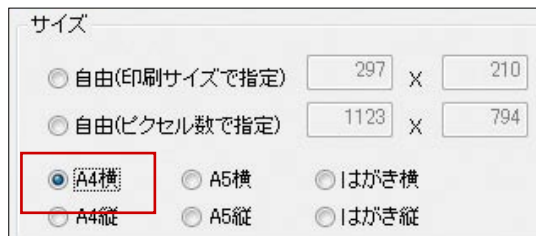
1 ツールバーの[白紙]をクリックします。



2 [サイズ設定] ウィンドウが表示されます。

[A4横]にチェックマークをつけ、[OK] ボタンをクリックします。

3 画面に横向きの白いキャンバスが表示されます。

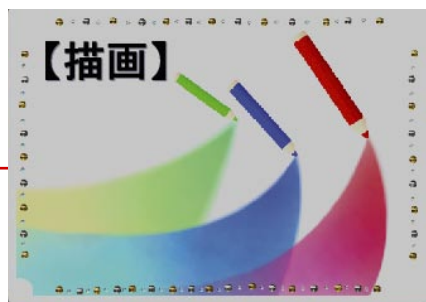
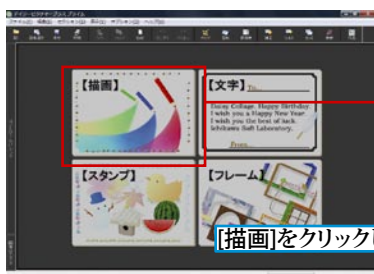


▶ ペンの色を選択して絵を描いてみよう

1 ツールバーの[装飾]をクリックします。



2 [セクション選択] 画面が表示されます。



▶ 色を作ろう



1 [色相ボックス]を選択します。

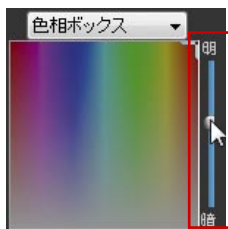
色相ボックス

オーロラのように表示された色相から、利用する色の部分をマウスで色を選択します。明暗バーを調整することにより同じ部分でも異なった色を設定することができます。「黒」にするときは明暗バーのつまみを「暗(1番下)」にします。

第2章

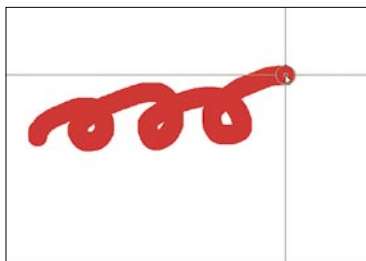
76 絵を描いてみよう

2 明暗バーを調整して、紫色を作ります。



「黒」にするときは明暗バーのつまみを「暗(1番下)」にします。

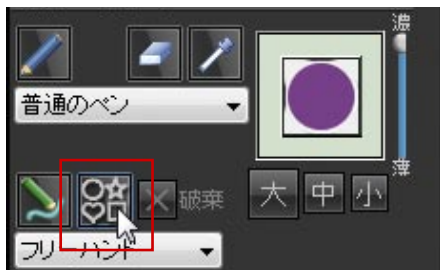
3 色が作れたら、色相ボックスにカーソルを合わせクリックします。[ペンの形状] に選択した色が反映されます。



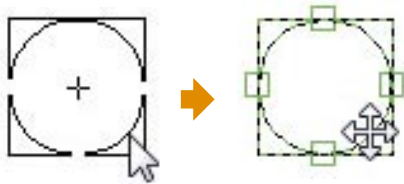
キャンバスにカーソルを合わせ、左ドラッグをすると絵を描くことができます。

描いた絵を消すときは、右ドラッグをすると消しゴムと同様で描いた絵を消すことができます。

▶ 領域選択を使って [円] を描こう

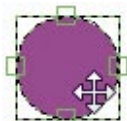


1 [領域選択] をクリックし、[円形] を選択します。

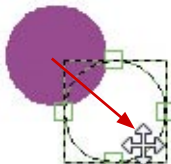


2 キャンバスの中心辺りでドラッグし、ぶどうの粒くらいの大きさの領域を作ります。

3 [塗りつぶし]をクリックすると、領域選択内が塗りつぶされます。



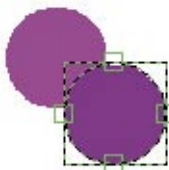
4 領域選択内へカーソルを合わせ、ドラッグをすると[領域]を移動することができるので、3で作成した粒に少しかかるくらいの場所に円の領域を配置します。



5 パレットから再度、紫色を選択するのですが、先ほどより、若干明るい紫色または暗い紫色を作ります。(粒に光の加減を作るためです)



6 [塗りつぶし]をクリックし、粒を作ります。



7 4～6の工程を繰り返し、ぶどうの形を作ります。



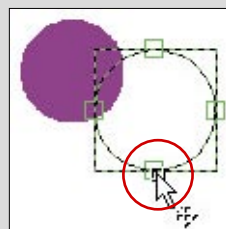
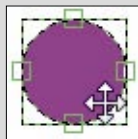
10～15粒ほど作ると形になっていきます。

POINT!

円形の領域の大きさを拡大、縮小すると立体的な作品を作ることができます。

【領域範囲の変更方法】

- ① 領域範囲の四隅の[□]にカーソルを合わせます。カーソルの後ろに[↕]の矢印が表示されます。
- ② ドラッグをすると大きさが変わります。



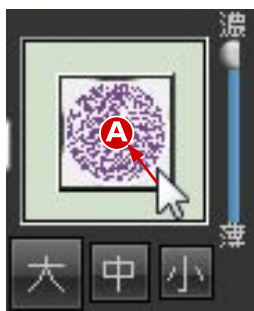
▶ 粒に影を作ろう



- 1 [フリーハンド]をクリックします。
- 2 ペンの種類を設定します。[ペン選択]をクリックします。
- 3 [ペン選択]ウインドウが表示されるので、[ブラシペン]を選択します。



- 4 **A**にカーソルを合わせてドラッグをし、ペンの太さを[円]より小さめに設定します。
(**A**はペン先の太さを表しています)

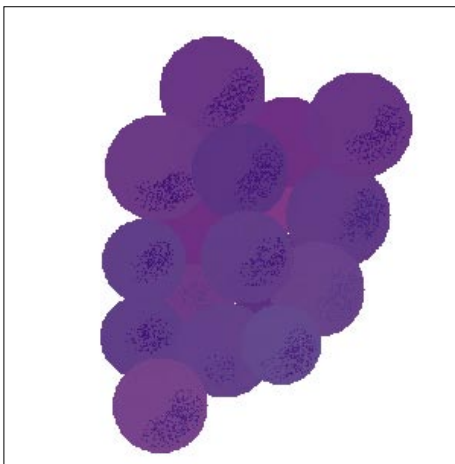


- 5 影の色を作ります。明暗バーを調節して粒の色より濃い紫色を作ります。
- 6 粒の右下に色をつけ影をつけます。

粒の右下周辺をドラッグすると、ブラシでなぞったように描画することができます。



すべての粒に影をつけます。



ブラシペンの描画イメージ

絵の具のついた歯ブラシで金網を擦って絵の具を散布させたような効果を出すことができます。

▶ 粒に質感を出そう

1 ペンの種類を設定します。[ペン選択]をクリックします。



[やわらかペンV2]を選択します。

2 Aにカーソルを合わせてドラッグをし、ペンの太さを粒より小さめに設定します。

3 色相ボックスから[白]を選択します。明暗バーのつまみを[明]へスライドし、[白]を選択します。

4 粒の左上にカーソルを合わせ、一度クリックします。

[やわらかペン(V2)]の効果で、ぶどうの粒に光が射しているように見えます。



やわらかペン(V2)の描画イメージ
乾いていない紫色の絵の具の上に、水で溶いた白い絵の具を垂らしたような効果を出します。

▶ 枝の部分を描こう

1 ペンの種類を設定します。[ペン選択]をクリックします。

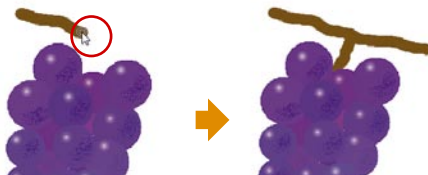


[普通のペン]を選択します。

2 ペンの太さを、イメージしているぶどうの枝の太さに設定します。

3 色相ボックスから明暗バーを調節し枝の色(茶色)を作ります。

4 キャンバスのぶどうの上部(枝がある部分)にカーソルを合わせ、枝を描画します。



第2章

80 絵を描いてみよう

5 [ペン選択]をクリックします。[ペン選択]ウィンドウが表示されます。

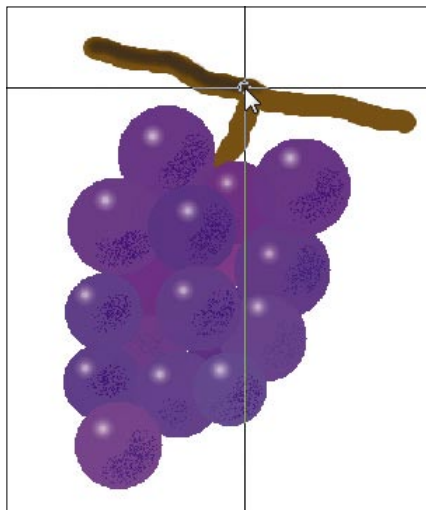


6 ペンの太さを枝より細くします。

[やわらかペン]を選択します。

7 色相ボックスから枝より濃い茶色を作ります。

8 枝の影の部分を描画します。



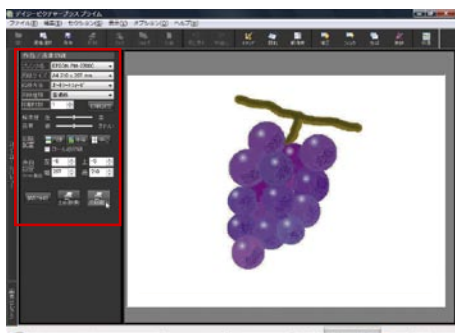
やわらかペンの描画イメージ

隈取(くまとり)筆に水で溶いた絵の具を含ませ軽く描画をするような効果を出すことができます。

▶ 印刷をしよう

1 ツールバーの[印刷]をクリックします。

2 印刷の画面が表示されます。



3 [プリンタ名]を設定します。[▼]をクリックすると、お使いのパソコンに接続されているプリンタが表示されます。この中から使用するプリンタを選択します。

※変更しない場合は、設定をする必要はありません。

4 [用紙サイズ]を設定します。[▼]をクリックし、用紙のサイズを選択します。

5 [給紙方法]、[用紙種類]は任意の設定を行います。

6 用紙の向きは[印刷設定]ボタンをクリックし、お使いのプリンタの[プロパティ]から設定をしてください。

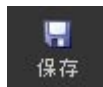
プリンタのプロパティの設定につきましては、ご利用のプリンタの取扱説明書をご覧ください。

7 印刷の配置は[内接]をクリックし、用紙に作品がすべて収まるようにしてください。

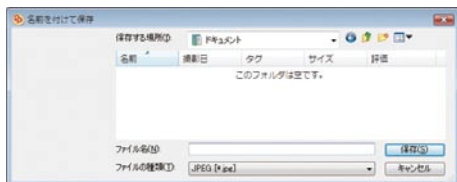
8 [印刷開始]をクリックし、[はい]を選択すると印刷が開始されます。

▶ 保存をしよう

1 ツールバーの[保存]をクリックします。



2 [名前を付けて保存]ウインドウが表示されます。



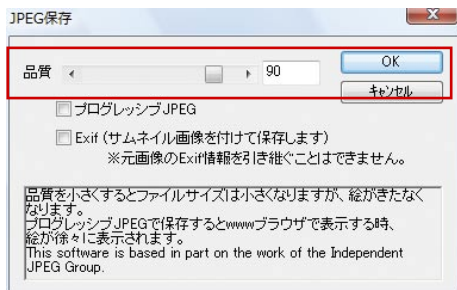
3 [保存する場所]の[▼]をクリックすると、保存先が選択できるので任意の保存先を設定してください。

4 [ファイル名]はこの作品の任意のファイル名をつけてください。

5 作品の保存形式を[ファイルの種類]から選択します。
[JPEG (*.jpg)]形式で保存をします。

保存形式についての解説は149ページの「保存形式一覧表」をご覧ください。

6 [保存]をクリックします。



7 [JPEG保存]ウインドウが表示されます。

品質の数値は通常[90]で劣化すること無くに保存できるので、このまま[OK]をクリックします。

写真に文字を入力した場合は、品質の数値は90以上で保存をしてください。
文字入力時に数値を[90]以上に設定しないと、保存後に文字がギザギザになります。



作品例



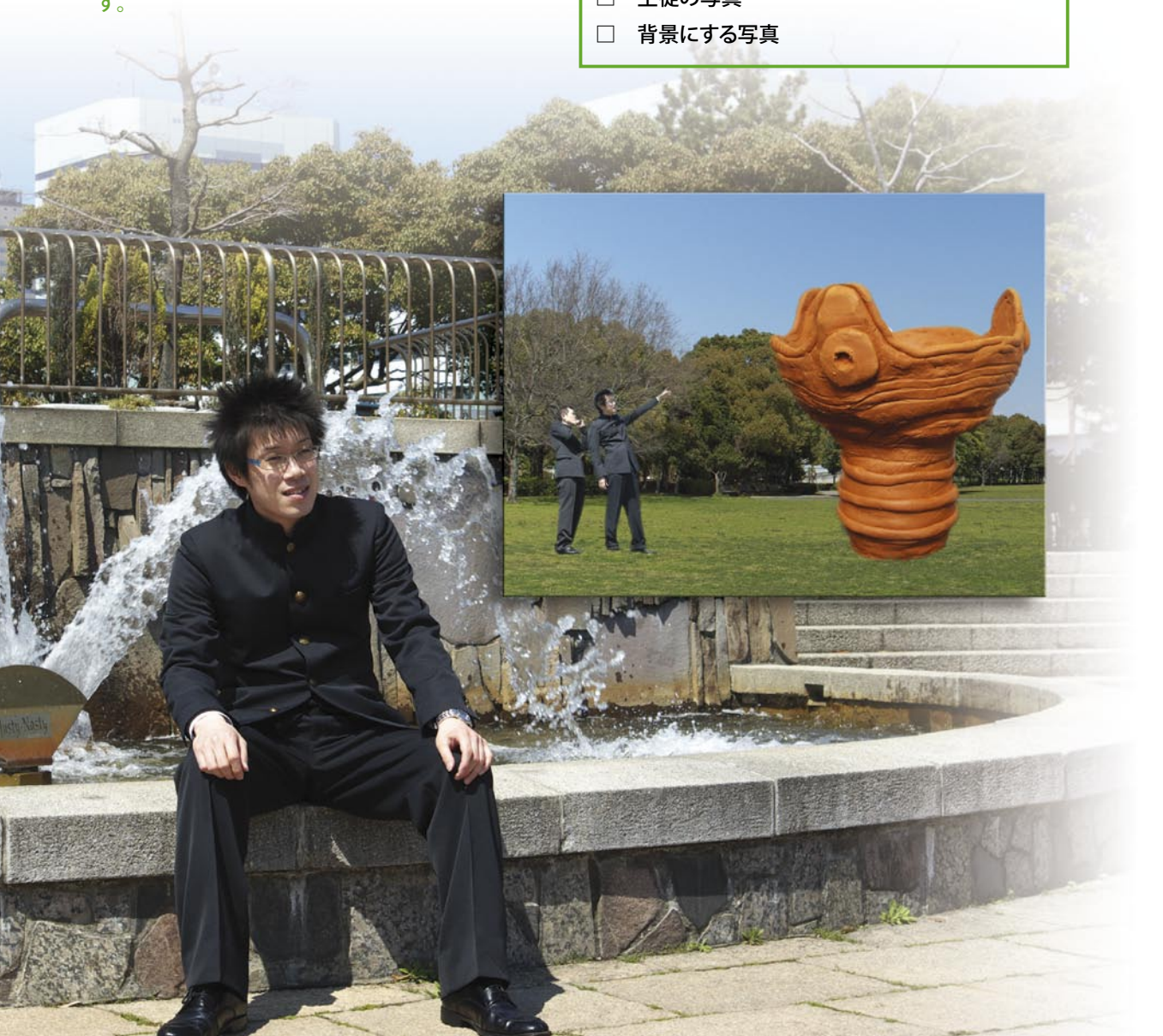
額縁に入った絵画
[描画+フレーム+スタンプ]

作品と自分を合成しよう

授業で作成したオブジェや木工などの作品を写真に撮り別の写真と合成して、新たな作品を作ることができます。作品を作った生徒の写真も一緒に合成すると、世界で一つの作品を作ることができます。

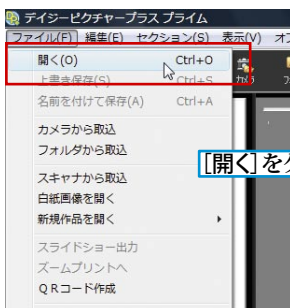
● 事前準備する資料

- 作品を撮影した写真
- 生徒の写真
- 背景にする写真



▶ 写真をファイルから取り込もう

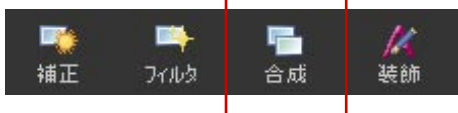
1 メニューバーの[ファイル(F)]から[開く]を選択します。



2 使用する写真のファイル名をクリックして、[開く]を選択します。

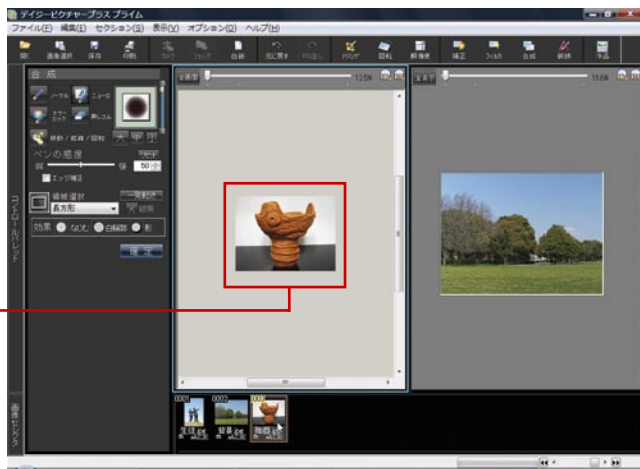
▶ 合成する写真を用意しよう

1 ツールバーの[合成]をクリックします。



合成セッション画面が開き、キャンバスに2種類の写真が開きます。

2 [画像セレクト]から合成をする被写体を選択します。

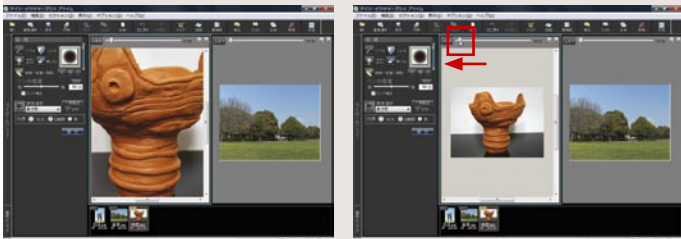


左側のキャンバスに[画像セレクト]から選択した写真が表示されます。

▶ 写真の大きさを整えよう

左の写真が大きい場合

左のキャンバスの上に[拡縮スクロールバー]があります。
このスクロールバーを左へスライドすると写真が小さく表示されます。



スクロールバーを一番左へスライドさせても、まだ写真が大きい場合は写真の解像度変換を行うと大きさを小さくすることができます。

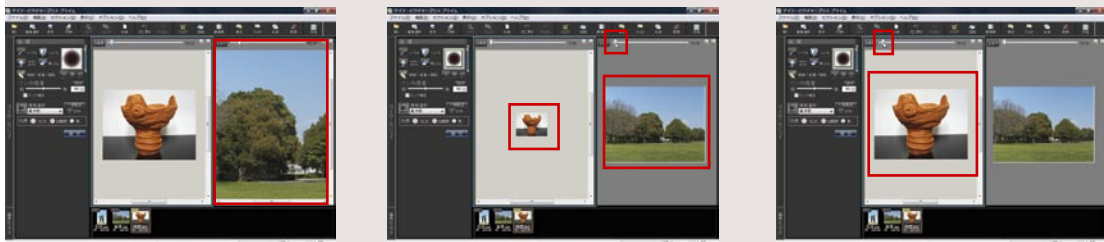
解像度変換についての解説は57ページをご覧ください。

右の写真が大きい場合

右のキャンパスの上に[拡縮スクロールバー]があります。

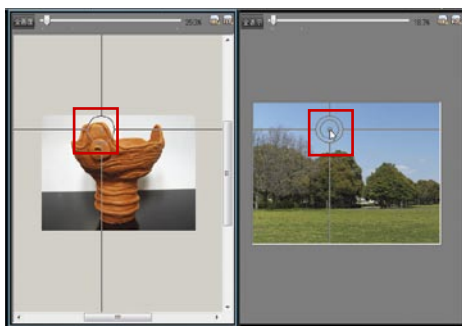
このスクロールバーを左へスライドすると写真が小さく表示されます。

同時に、左のキャンパスの写真も小さくなるので、左のキャンパスの上の[拡縮スクロールバー]をスライドさせ、写真の大きさを調整します。



▶ 背景に作品を合成しよう

- 1 マウスのカーソルを右の写真(背景)へ合わせます。



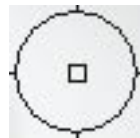
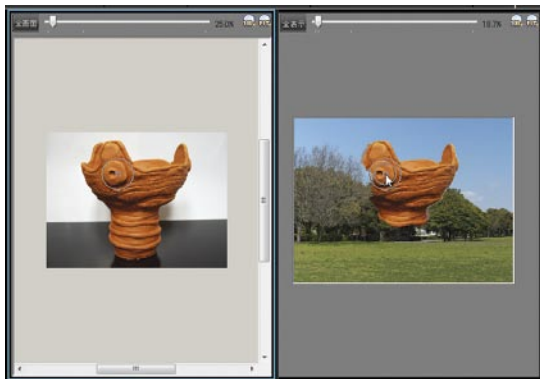
マウスのカーソルを中心に2重の円と縦横の十字線が表示されます。

同時に左の写真(被写体)にも1重の円と縦横の十字線が表示されます。カーソルを動かすとわかりますが、この2つの円は連動して動いています。

POINT!

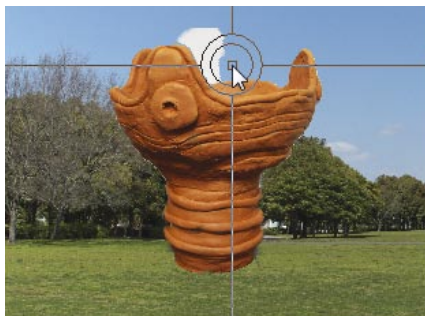
合成を行うときはマウスのカーソルは必ず右の写真(背景)に合わせてください。

- 2 左の写真に表示されている円の中心に小さな[□]があります。この[□]をペンの先になります。



[□]を合成する被写体の内側に沿ってドラッグをします。

右の写真に左の写真でドラッグした部分が合成されます。



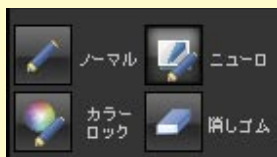
はみ出してしまった場合は、はみ出した部分に右ドラッグを行うと消すことができます。(右ドラッグで消す場合も、マウスのカーソルは右の写真に合わせたままです。)

POINT!

ペン先が大き過ぎてうまく合成できない!
[コントロールパレット]のペンの大きさを調整します。[大][中][小]ボタンで大きさを変更することができます。
また、中央のペン先を直接ドラッグすることで、ペンの大きさと形状を手動で調整することができます。

POINT!

上記で使用しているペンモードは[ニューロ]というペンです。初期値に設定されています。



ノーマルペン...ドラッグした部分を全て合成します。

ニューロペン...被写体の輪郭をプログラムが自動で認識し、被写体だけをきれいに合成します。

カラーロック...被写体の色をプログラムが判別して、その色の部分だけを合成します。

消しゴム...合成した被写体画像を消去します。

● うまく合成ができない...なぜ?

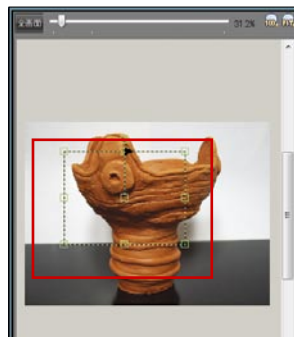
原因 1

被写体の写真(左側)を誤ってドラッグしてしまった。

- 1 コントロールパレットの[領域選択]の右手の[破棄]をクリックします。



- 2 左側のキャンバスに表示されていた緑色の点線が消えます。



原因 2

被写体の色と背景の色が似ている。

- 1 [ニューロ]の感度を強めます。

感度を強めることによって、境界線の認識が厳しくなり、色の違いをより見分けることができます。



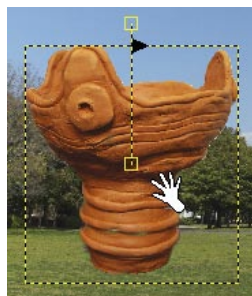
▶ 合成した被写体を移動しよう

1 コントロールパレットの[移動/拡縮/回転]をクリックします。



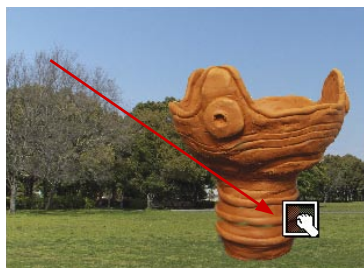
合成した被写体に黄色い点線が表示されます。

2 マウスのカーソルを黄色い点線内へ合わせます。



3 ドラッグをすると合成した部分を移動することができます。

カーソルが矢印から[]のマークへ変わります。



同時に左側の写真の位置も移動します。

▶ 合成した被写体を拡縮しよう

1 マウスのカーソルを黄色い点線内へ合わせます。

カーソルが矢印から[]のマークへ変わります。



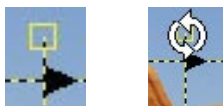
2 右下へ向かって右ドラッグを行うと合成した被写体が拡大されます。

3 左上へ向かって右ドラッグを行うと合成した被写体が縮小されます。

▶ 合成した被写体の角度を変えよう

1 黄色い点線の上部に、黄色い[□]が表示されています。

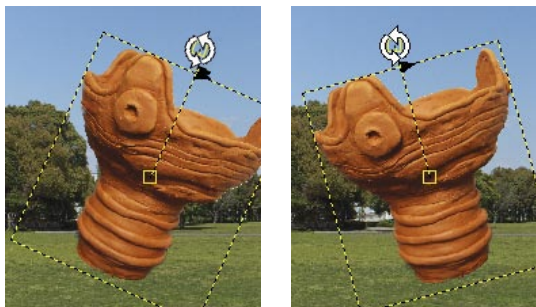
黄色い[□]にマウスのカーソルを合わせます。



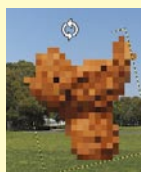
カーソルが矢印から[☼]へ変わります。

2 右へドラッグを行うと合成した被写体が右へ回転します。

3 左へドラッグを行うと合成した被写体が左へ回転します。



POINT!

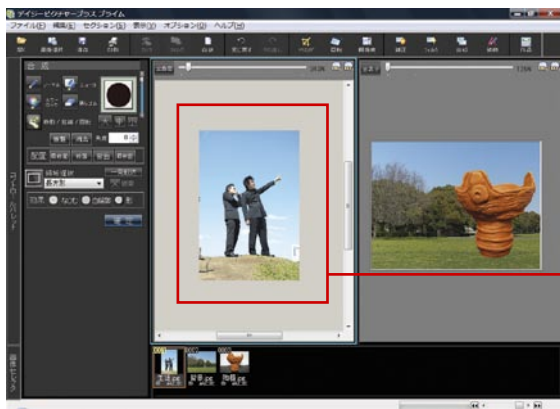


ドラッグ中は画像がモザイク状になりますが、ドラッグしている指を放すと、元の画像の状態に戻ります。

▶ 合成した写真に新たな写真を合成しよう

1 [画像セレクト]から次の被写体となる写真を選択します。

左側のキャンバスの写真が画像セレクトから選んだ写真に変わります。

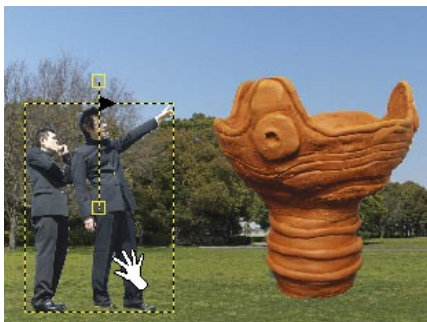


写真が変わります。

第2章

88 作品と自分を合成しよう

84～87ページの操作で引き続き合成操作を行います。

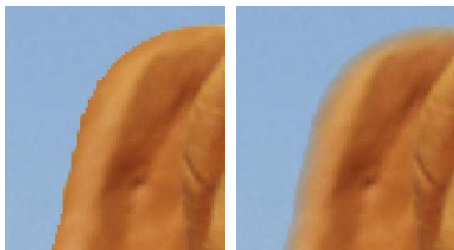


▶ 被写体と背景をなじませよう

- 1 合成した被写体を選択した状態(画像セレクトで選択している状態)で、コントロールパレットの[効果]から[なじむ]を選択します。



被写体の周りに、ぼかしが入ります。[なじむ]を再度クリックすると、ぼかしの効果が強くなり、背景の写真と被写体になじんできます。



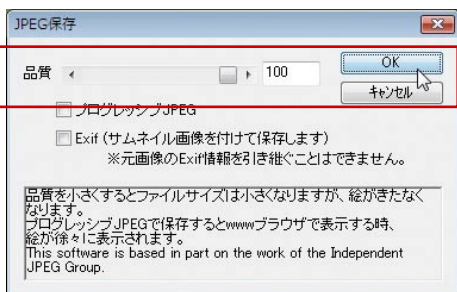
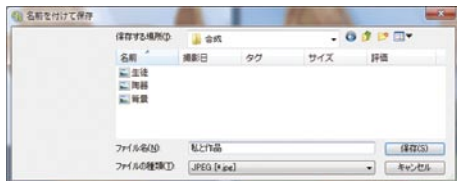
拡大表示すると、効果をはっきりとわかります。

- 2 効果を掛け終わったら、必ず最後に[確定]をクリックしてください。



[確定]操作を行った後では、[効果]をかけることはできませんので、ご注意ください。

▶ 保存をしよう



- 1 ツールバーの[保存]をクリックします。
- 2 [名前を付けて保存]のウィンドウが表示されます。
- 3 保存する場所を指定します。
- 4 [ファイル名]に作成した作品のファイルの名前を入力します。
- 5 作品の保存形式を[ファイルの種類]から選択します。

保存形式についての解説は149ページの「保存形式一覧表」をご覧ください。

- 6 [保存]をクリックします。
- 7 [JPEG保存]ウィンドウが表示されます。

品質の数値はスクロールバーをスライドさせて[100]に設定します。

写真に文字を入力した場合は、品質の数値は[90]以上で保存をしてください。文字入力時は品質の数値を[90]以上に設定しないと、保存後に文字がガザガザになります。

補足

作品例



土器が倒れそう
[合成+回転]



土器からの目覚め
[合成+フィルタ(レンズフレア)]